

基本目標1 地域社会
 地域社会の誰もが多文化共生に関心を持ち、誰もが参画する持続可能なまち
 施策の方向性1-1
 多文化共生意識の向上

達成状況 A:達成
 B:おおむね達成
 C:改善が必要
 Z:その他

具体的施策1-1-1 やさしい日本語の普及			
No.	取組状況 (R4年3月末見込み)・今後の取組方針	達成状況	担当課
1	★日本人住民を対象としたやさしい日本語講座の実施 ・H28年から毎年市職員向けにやさしい日本語研修を実施しています。 ・R3年度は、市内大学(20名参加)・高校(9名参加)で出前講座を実施し、やさしい日本語について紹介しました。引き続き、出前講座の機会等で周知を図っていきます。	B	人権共生課
2	★多文化共生に資する町会文書翻訳体制の充実 ・先進自治体の取り組みを参考に情報収集を行っています。 ・出前講座等を活用し、やさしい日本語の周知も行っていきます。	C	人権共生課
具体的施策1-1-2 交流イベントの開催			
No.	取組状況 (R4年3月末見込み)・今後の取組方針	達成状況	担当課
3	○多文化共生に関する交流イベント情報の収集と提供 ・SNSや広報まつもと等の市刊行物、メディア等を通しイベント情報の発信を行っており、今後の多文化共生に関するイベント情報を積極的に発信します。	A	人権共生課 (多文化共生プラザ)
4	○外国人支援団体等との連携 ・多文化共生プラザへのイベントチラシ設置などの協力を行っており、今後も支援団体等と連携していきます。	A	人権共生課 (多文化共生プラザ)
5	○理解を深め、楽しさを知る交流イベントの実施 ・R3年度は、子ども向けから、福祉ひろばとも連携した高齢者向けのものなど幅広い世代を対象にイベントを実施しました。 ・今後も、幅広い世代を対象に、地域での交流イベントを推進します。	A	人権共生課 (多文化共生プラザ)
6	○多文化共生プラザと多文化共生推進プランの周知 ・SNS、外国人転入者へのチラシ配布や、多言語相談時間シフトを記載したカード配布で、多文化共生プラザの周知しています。 ・第3次プランの概要版パンフレットをイベント時に配布するなどし、周知しています。	A	人権共生課 (多文化共生プラザ)
7	○多文化共生イベント等の広報に関する支援 ・多文化共生プラザへのチラシ設置など、周知協力を行っています。	A	人権共生課 (多文化共生プラザ)
	・館内のチラシ等を掲示しています。		生涯学習課・中央公民館
8	○多文化共生イベント等の企画・運営に関する支援 ・多文化共生イベント等の企画、運営に関する相談も、多文化共生プラザで応じています。	A	人権共生課 (多文化共生プラザ)
	・「こいこい松本」を実施して、諸外国の事情等を紹介しています。今年はオンラインでの開催をしました。(生涯学習課・中央公民館)		生涯学習課・中央公民館
具体的施策1-1-3 地域住民への意識啓発			
No.	取組状況 (R4年3月末見込み)・今後の取組方針	達成状況	担当課
	○町会長や民生委員、町内公民館長等地域リーダーへの啓発研修の実施 ・地区の環境衛生部と協力し、ゴミ捨てルールに関する情報を英語/中国語化しゴミステーションへの掲示及びポスティングを実施。今後、これらの言語以外の対応が必要になれば、都度対応していく。(松原)		地域づくりセンター
	・民生委員・児童委員協議会地区会長会や地区定例会を通じて啓発研修を実施予定でしたが、コロナ禍によって実施できませんでした。		福祉政策課

9	<ul style="list-style-type: none"> ・松本市町内公民館長会の研修に、多文化共生に関する事項を行い、町内公民館長の理解を深めます。(生涯学習課・中央公民館) ・人権に関するDVD上映会を実施しており、適当な題材等あれば今後も実施していきます。(各地区公民館) ・地区人権啓発推進協議会と共催し、人権講座を開催しました。来年度も内容を変え、実施予定です。(各地区公民館) ・JICA駒ヶ根訓練所視察見学(1月17日)新型コロナウイルス感染症警戒レベル引き上げにより中止 人権教育啓発推進センター発行の冊子にて啓発(白板地区公民館) ・人権啓発活動の一環で「島内・島立ふれ愛コンサート」を2月下旬に開催予定です。(島内公民館・島立公民館) ・R3年度は、異文化理解を深めるために本場インドカレー料理教室を実施しました。今後も外国の料理教室を実施します。(今井公民館) 	A	生涯学習課・中央公民館
10	<p>○学校・地域・行政向けの出前講座プログラムの作成・情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3年度は、市内大学・高校・日本語教室(予定)で出前講座を実施し、依頼元に応じた内容としています。 	A	人権共生課
11	<p>○グローバルな視点を取り入れた多文化共生を考える機会づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校の探究活動(授業)への協力を行っています。R3年度は3グループの来訪があり、多文化共生の取り組みについて情報提供しました。 	A	人権共生課
12	<p>○出前講座の活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松本市公民館長会で行われた多文化共生研修の資料に基づき、町内公民館長会(地区公民館企画会議)において周知をします。(島立公民館) 	B	生涯学習課・中央公民館
	<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度は市内大学・高校のほか、日本語教室(予定)でも実施しました。 ・事業所などにもPRし、出前講座の活用を促進します。 		人権共生課
13	<p>○外国人住民が発信する事業への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生プラザへのチラシ設置など、周知協力を行っています。 	A	人権共生課
14	<p>○キーパーソン・ネットワークとの連携による啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーパーソンを通じた多文化共生に関するイベント等の情報発信を行っています。 	A	人権共生課
15	<p>○地域社会に参画している外国人住民の事例紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年はオンラインで「こいこい松本」を開催して、松本に住む外国人住民の活動を紹介します。(生涯学習課・中央公民館) 	B	生涯学習課・中央公民館
	<ul style="list-style-type: none"> ・キーパーソンの協力を得ながら、取り組みを進めます。 		人権共生課

施策の方向性1-2
外国人住民の社会参画促進

具体的施策1-2-1 キーパーソン・ネットワークを活かした支援【重点】

No.	取組状況(R4年3月末見込み)・今後の取組方針	達成状況	担当課
16	<p>○キーパーソン・ネットワークの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松本市多文化共生キーパーソンの登録者は65名ですが、多くがキーパーソンからの紹介による登録者であり、ネットワークの拡大が見られます。 ・キーパーソンを通じ多文化共生プラザでの相談に繋がるなど、キーパーソン・ネットワークを活かした支援事例も見られます。 	A	人権共生課
	<p>○キーパーソン・ネットワークを活かした支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーパーソンを通じ多文化共生プラザでの相談に繋がるなど、キーパーソン・ネットワークを活かした支援事例も見られます。 		人権共生課
18	<p>○地域づくりセンターとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりセンターと連携できる仕組みづくりを進めます。 	C	人権共生課
	<ul style="list-style-type: none"> ・人権共生課と調整し、キーパーソンとの連携や活動に対する支援を検討 		地域づくりセンター
19	<p>○外国人キーパーソンを「多文化共生推進協議会」委員に委嘱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3名の外国人委員に委嘱しています。当事者のご意見を施策に活かします。 	A	人権共生課

具体的施策1-2-2 地域行事等への参加促進			
No.	取組状況（R4年3月末見込み）・今後の取組方針	達成状況	担当課
20	<p>○外国人住民も情報を得やすい広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会へのやさしい日本語の普及は十分でなく、地域から発信される情報の多くは外国人住民が情報を得やすいものではないと考えられます。 ・地域でのイベント・出前講座実施を通し、やさしい日本語の普及を図ります。 	C	人権共生課
21	<p>○地域住民による地区行事等への参画の働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会や地区の協議会等、各種団体と連携し、地区行事等への参画を促進します 	B	地域づくりセンター
	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭や運動会、防災訓練など地区行事に外国人住民が参加できるよう、やさしい日本語を使った広報や地域のキーパーソンを通じた連絡を依頼し、参画を働きかけていきます。（生涯学習課・中央公民館） ・信州大学の留学生や地域住民を対象とした地域の伝統行事（三九郎）へ参加する公民館講座を、該当町会等と連携し開催しました。（城東公民館） 		生涯学習課・中央公民館
	<ul style="list-style-type: none"> ・交流イベントを通し、日本人・外国人住民の多文化共生意識の向上を図ります。 		人権共生課
22	<p>○外国人住民・留学生を学習会等の講師として依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館等と連携し、各地区で取組みを検討します。 	A	地域づくりセンター
	<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度は、異文化理解を深めるために本場インドカレー料理教室を実施しました。今後も外国の料理教室を実施します。（今井公民館） 		生涯学習課・中央公民館
	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館、福祉ひろば等からの依頼に対し、多文化共生プラザとも連携し、講師紹介を行っています。 ・市内大学サークルからの交流の相談に応じ、外国人キーパーソン・日本語教室への繋ぎを行いました。 		人権共生課
具体的施策1-2-3 交流・親睦の楽しさの発信			
No.	取組状況（R4年3月末見込み）・今後の取組方針	達成状況	担当課
23	<p>○交流・親睦の楽しさのPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館、福祉ひろば、各種団体等と連携し、交流・親睦の機会づくりを促進します。 	A	地域づくりセンター
	<ul style="list-style-type: none"> ・信州大学の留学生と地域住民が日本の伝統的な遊び（コマ回しなど）を通して交流を深める公民館講座を開催しました。（城東公民館） 		生涯学習課・中央公民館
	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生プラザFacebook、メディアなど様々な媒体で多文化共生イベント情報等の発信を行っており、今後もSNSを中心とした情報発信に注力します。 		人権共生課 (多文化共生プラザ)

基本目標2 コミュニケーション
 言葉の壁を越え対話が活発であり、必要な情報を得られるまち
 施策の方向性2-1
 やさしい日本語・多言語による発信

達成状況 A:達成
 B:おおむね達成
 C:改善が必要
 Z:その他

具体的施策2-1-1 多言語生活ガイドブックの利用促進			
No.	取組状況 (R4年3月末見込み)・今後の取組方針	達成状況	担当課
24	○転入時に「多言語生活ガイドブック」を配布 ・市民課窓口にて、外国人転入者に多言語生活ガイドブックの二次元コード一覧表を配布しています。	A	人権共生課
25	○「多言語生活ガイドブック」の利用促進 ・多文化共生プラザ、各地区地域づくりセンター、各保健センターに二次元コード一覧を設置しており、市内大学にも設置を依頼しています。	A	人権共生課
26	○企業への「多言語生活ガイドブック」活用の依頼 ・ハローワーク松本と連携し、外国人従業員雇用事業所に活用を依頼しています。	B	人権共生課
	・企業向けに発行している「労政まつもと」に、活用依頼の記事を掲載しました。今後も定期的に掲載します。		労政課
27	○企業での生活オリエンテーションの実施 ・実績はありませんが、多言語生活ガイドブックを活用した生活オリエンテーション（出前講座）の実施について、労政まつもとで広報しています。	B	人権共生課
	・企業向けに発行している「労政まつもと」に、必要に応じて生活オリエンテーション（出前講座）を実施する旨の記事を掲載しました。		労政課
具体的施策2-1-2 ICTの活用による広報・体制の充実			
No.	取組状況 (R4年3月末見込み)・今後の取組方針	達成状況	担当課
28	★各担当部署の多言語対応体制の充実 ・国の通訳支援試行事業により、市窓口での電話通訳を実施しています。（R3年度） ・国の施策を踏まえ、多言語対応体制について検討します。	Z	人権共生課
29	○生活関連情報を発信するやさしい日本語・多言語のホームページ作成 ・多文化共生プラザ、防災情報ページをやさしい日本語で作成し公開しています。 ・市ホームページのトップページに多文化共生プラザのバナー（入り口）作成しました。 ・コロナワクチンや給付金について、やさしい日本語で発信しています。	B	人権共生課
30	○ごみの分け方・出し方に関する資料とスマートフォンアプリの多言語化 ・「家庭用ごみ・資源物の分け方・出し方」の配布、スマートフォンアプリ「さんあ〜る」の発信をしました。8カ国語（英語、中国語、スペイン語、タガログ語、ポルトガル語、韓国語、タイ語、ベトナム語）	A	環境業務課
31	○各種事業・イベント情報の多言語化とSNSや市ホームページ等を活用しての情報提供 ・多文化共生プラザFacebookでは、英語・中国語・ポルトガル語・タイ語での発信も行っています。 ・プラザ主催イベントは、Facebookや広報まつもと、集まれ!!松本キッズ!!等で発信しています。	A	人権共生課 （多文化共生プラザ）
具体的施策2-1-3 生活情報のやさしい日本語・多言語化の推進			
No.	取組状況 (R4年3月末見込み)・今後の取組方針	達成状況	担当課
32	★多文化共生に資する町会文書翻訳体制の充実 【再掲】	C	人権共生課
33	○ごみの分け方・出し方に関する資料とスマートフォンアプリの多言語化 【再掲】	A	環境業務課
34	★生活情報のやさしい日本語・多言語化 ・コロナワクチンや臨時特別給付金などについて、関係課と連携し、やさしい日本語・多言語での情報発信を行っています。	A	全庁 （人権共生課）

施策の方向性2-2
多文化共生キーパーソンの活用

具体的施策2-2-1 地区での多文化共生キーパーソンの育成【重点】

No.	取組状況（R4年3月末見込み）・今後の取組方針	達成状況	担当課
35	○各地区に多文化共生キーパーソンを育成 ・地区単位での募集はしていませんが、現在65名の方が登録されています。 ・今後、地域でのプラザイベント開催を推進し、キーパーソンの掘り起こしを図ります。	B	人権共生課
36	○多文化共生キーパーソンの募集・掘り起こし ・市ホームページ、広報まつもと、多文化共生フォーラム等のイベントで周知し、募集を行っています。現在65名の方が登録されています。	A	人権共生課

具体的施策2-2-2 研修の実施

No.	取組状況（R4年3月末見込み）・今後の取組方針	達成状況	担当課
37	○多文化共生キーパーソン研修の実施 ・11月にキーパーソン研修会を実施し、40名の参加がありました。引き続き、キーパーソンスキル向上やキーパーソン同士の交流のため実施します。	A	人権共生課

具体的施策2-2-3 情報発信体制の確立【重点】

No.	取組状況（R4年3月末見込み）・今後の取組方針	達成状況	担当課
38	○多文化共生キーパーソンとの情報共有体制の確立 ・LINE公式アカウントを創設しました。 ・プラザイベント、県・国主催の相談会など、多文化共生に関わる幅広い情報をキーパーソンと共有しています。	B	人権共生課
39	○多文化共生キーパーソンから外国人住民への情報拡散 ・キーパーソンを通じ多文化共生プラザでの相談に繋がるなどの事例もあります。	B	人権共生課

施策の方向性2-3
相談体制の充実

具体的施策2-3-1 寄り添い支援

No.	取組状況（R4年3月末見込み）・今後の取組方針	達成状況	担当課
40	○多文化共生プラザで寄り添い支援の実施 ・相談の内容に応じ、福祉関連部署等への同行支援を実施しています。	A	人権共生課 (多文化共生プラザ)
41	○多文化共生プラザ相談員の事例検討等によるスキルアップ ・月1回相談員間での事例検討を実施しています。 ・国、県主催の相談員研修会に参加し、スキルアップを図っています。	A	人権共生課 (多文化共生プラザ)

具体的施策2-3-2 関係機関等との連携

No.	取組状況（R4年3月末見込み）・今後の取組方針	達成状況	担当課
42	○多文化共生プラザ相談員と多文化共生キーパーソン、民生・児童委員等との連携 ・キーパーソンには、研修会などを通じ、プラザの機能について周知しています。 ・民生児童委員全体研修会などを通じ、プラザ、キーパーソンについて周知します。	B	人権共生課 (多文化共生プラザ)
43	○地域づくりセンターとの連携【再掲】	C	地域づくり課 人権共生課 (多文化共生プラザ)

具体的施策2-3-3 アウトリーチの展開

No.	取組状況（R4年3月末見込み）・今後の取組方針	達成状況	担当課
44	○集住地区で相談の実施 ・松南地区公民館、芳川地区公民館での出張相談会を実施しました。 ・来年度も定期的な出張相談会を実施し、相談の拾い上げに努めます。	A	人権共生課 (多文化共生プラザ)
45	○外国人コミュニティの拠点における多文化共生プラザの周知 ・外国食材店にプラザのチラシを置いてもらうなど、多文化共生の周知を行っています。	A	人権共生課 (多文化共生プラザ)
46	★多文化共生プラザ相談事例の発信 ・よくある相談事例をまとめ、Facebookで発信しました。今後もプラザ周知の一環として、相談事例の発信を行います。	A	人権共生課 (多文化共生プラザ)
47	○理解を深め、楽しさを知る交流イベントの実施 ・地区福祉ひろばでのイベント、子ども向けのイベントを実施し、幅広い世代に向けた多文化共生の楽しさの発信を行いました。	A	人権共生課 (多文化共生プラザ)

施策の方向性2-4
日本語学習支援体制の充実

具体的施策2-4-1 日本語教室支援

No.	取組状況 (R4年3月末見込み)・今後の取組方針	達成状況	担当課
48	○各教室に必要な日本語ボランティアの募集 ・市公式ホームページでボランティアの募集を行っています。頻りにボランティア希望者からの問合せがあり、各日本語教室へ案内しています。(生涯学習課・中央公民館) ・回覧等で周知しています。(芳川公民館)	B	生涯学習課・中央公民館
49	○教材・指導書等の充実 ・多文化共生プラザの日本語教材の充実を図っており、日本語ボランティアの方などに活用されています。	A	人権共生課
	・教室のニーズに合った教材を各教室の代表者と相談のうえ購入し、教室のより良い運営に繋がっています。		生涯学習課・中央公民館 (地域日本語教室)
50	○日本語教室に関する情報の収集・発信 ・令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休講が相次ぎ、開講状況についても市公式ホームページで発信しました。(生涯学習課・中央公民館) ・回覧等で周知しています。(芳川公民館)	A	生涯学習課・中央公民館
	・コロナの影響による開設状況等について、多文化共生プラザで情報発信を行いました。		人権共生課
51	○多様なニーズへの対応力を高めるための日本語ボランティア講座の開催 ・参加者のニーズ分析や国、県の政策を勘案しながら、日本語ボランティアの知識やスキルの向上につながる講座を開催します。またボランティアでは対応が難しいケースを想定した、日本語講座のあり方も研究します。	C	生涯学習課・中央公民館
52	○情報交換や交流をベースにした日本語学習活動の支援 ・活動場所の提供や広報などに協力しています。	A	人権共生課

具体的施策2-4-2 ボランティア・コーディネーターとの連会

No.	取組状況 (R4年3月末見込み)・今後の取組方針	達成状況	担当課
53	○日本語教室における多文化共生キーパーソンの登録推進 ・地域日本語教室に携わる多くの方に多文化共生キーパーソンに登録いただき、引き続き登録を推進します。	A	人権共生課
54	★地域日本語教育コーディネーターとの連携 ・地域日本語コーディネーターと連携し、日本語教室のより良い運営に繋がっていくとともに、各教室のスタッフへの助言、相談等にご協力をお願いしていきます。(生涯学習課・中央公民館)	B	生涯学習課・中央公民館

具体的施策2-4-3 新たな日本語教育体制の推進

No.	取組状況 (R4年3月末見込み)・今後の取組方針	達成状況	担当課
55	○さまざまなニーズに対応する新たな日本語教室の開設 ・ヤングにほんご教室ではオンライン配信も開始しました。(生涯学習課・中央公民館) ・今後、子どもを対象とした学習支援と居場所づくりを行う教室と、高校生を対象にキャリア支援を行う教室を計画しています。(生涯学習課・中央公民館)	B	生涯学習課・中央公民館
	・令和4年度から、新たな地域日本語教室をオンラインで創設します。		人権共生課
56	★日本語教育推進体制の充実のための、横断的な体制の構築 ・日本語教育推進法に基づき、関係課で連携し、日本語教育推進体制の整備を目指します。(生涯学習課・中央公民館)	B	生涯学習課・中央公民館
	・令和4年度から地域日本語教室の体制づくりを実施します。		人権共生課
	・保護者懇談や支援会議、学校見学等での通訳派遣や通知表等の翻訳を人権共生課を通じて実施します		学校教育課

基本目標3 教育・子育て
 どの子どもに必要な教育が得られるまち
 施策の方向性3-1
 日本語教育・就学支援体制の充実

達成状況 A:達成
 B:おおむね達成
 C:改善が必要
 Z:その他

具体的施策3-1-1 ガイダンス等活用による学校関連情報の周知			
No.	取組状況（R4年3月末見込み）・今後の取組方針	達成状況	担当課
57	○学校生活やルール等をまとめたガイドブックの作成と活用 ・就学相談会資料等に明記しています（ガイドブック等の形にはなっていません）	C	学校教育課
58	○「放課後児童健全育成事業」の周知 ・小学校の来入児説明会に合わせて各館の職員が放課後児童健全育成事業の案内を行っています。在学児童については、学校を通じて全家庭に利用案内を配布しています。 ・引き続き、必要な人に利用してもらえるよう、周知を図ります。	A	こども育成課
59	○入学前ガイダンスの案内と資料の多言語化 ・小・中・高等学校入学にあたっての保護者の不安を解消するための各言語に対応した「進学ガイド」を作成しています。年度ごと見直しを行っています。	A	学校教育課
60	○関係機関との連携による入学前ガイダンス周知 ・本年度ガイダンスは実施できませんでしたが、資料の送付で対応しました。	A	学校教育課
	・今年度は、新型コロナウイルスの感染防止のため、説明会を開催することはできませんでしたが、学校支援センターが作成したDVDを公立・私立保育園、幼稚園、認定こども園へ配布し、関係機関との連絡調整を行いました。 ・今後も継続して関係機関との連絡調整に取り組みます。		保育課
61	○入学・進学前ガイダンスの実施（未就学児・小学生・中学生対象） ・コロナ禍により今年度は資料配布のみとしました。 ・高校進学のための説明動画を各言語で作成し、YouTubeに限定公開しています。	A	学校教育課
具体的施策3-1-2 日本語・バイリンガル支援員による支援及び異文化理解教育の推進			
No.	取組状況（R4年3月末見込み）・今後の取組方針	達成状況	担当課
62	○日本語教育推進体制の充実のための、横断的な体制の構築【再掲】	B	生涯学習課・中央公民館 人権共生課 学校教育課
63	○支援に当たっている教職員の支援力の向上のため研修会等の定期開催 ・月1回の定例会を実施しています。	A	学校教育課
64	★多言語の学校文書テンプレートを作成 ・学校行事やPTA関連の行事案内の多言語対応のテンプレートを作成、公開しています。	A	学校教育課
65	○学校との連携による支援体制づくり ・指導主事による指導状況の把握や定例会での聞き取りにより、支援体制づくりの指導を実施しています。	A	学校教育課
66	○学校における日本語・バイリンガル支援員の養成講座の開催 ・子ども日本語教育センターで随時実施しています。	A	学校教育課
67	○日本語・バイリンガル支援員登録制度の活用 ・ニーズに合わせて配置しています。	A	学校教育課
68	○進路ガイダンスの実施（高校・大学・就職） ・コロナ禍により今年度は資料配布のみとしました。	A	学校教育課
69	○子ども日本語教育センターと多文化共生プラザの連携 ・子ども日本語教育センターと多文化共生プラザとが生活上の困りごとを抱えた外国人児童・生徒又はその保護者の生活環境や学校での様子等の情報共有・連携をしています。	A	学校教育課

70	○多言語相談での個別対応 ・各校の依頼を受け、個別懇談会等に通訳を派遣し、進路指導、生活指導等に対応しています。	A	学校教育課
	・各校の依頼を受け、懇談会等に通訳を派遣しています。 ・R3年度実績：45件（2月15日現在）		人権共生課
71	○松本版コミュニティスクールを活用した学校での国際理解及び多文化共生教育の推進 ・「スーホーの白い馬」の学習に合わせ、馬頭琴の演奏などを聞く機会を設けました（中山公民館）	B	生涯学習課・中央公民館 （地区公民館） 学校教育課
72	○松本版コミュニティスクールを活用した学習及び生活支援の推進 ・「スーホーの白い馬」の学習に合わせ、馬頭琴の演奏などを聞く機会を設けました（中山公民館）	B	生涯学習課・中央公民館 （地区公民館） 学校教育課
73	○文化の相互理解の推進 ・各校の学校人権教育において実施しています。	A	学校教育課
	・インド舞踊からインドの文化について学ぶことで、外国文化を理解する講座を開講しました。（第三地区公民館）		生涯学習課・中央公民館 （地区公民館）
74	○母語図書の購入 ・女性センターパレア松本に母語図書を配架しています。	A	人権共生課
75	★母語・母文化教育に繋がる国際理解交流の実施 ・多文化共生プラザで子ども向けのイベント（世界のことばにふれてみよう・中国語）を開催しました。延べ29家族・63名参加（うち中国ルーツの家族の参加もありました）	A	人権共生課
具体的施策3-1-3 就学状況の把握・就学促進			
No.	取組状況（R4年3月末見込み）・今後の取組方針	達成状況	担当課
76	○対象生徒の日本語力について、入学先の高等学校に送付 ・対象生徒の日本語力についての資料を作成し、入学先の高校に送付しています。	A	学校教育課
77	○就学状況調査の実施（不登校含む） ・すべての児童生徒について把握を進めている。	A	学校教育課
78	○不就学、不登校児童・生徒のいる家庭への個別対応 ・すべての児童生徒について必要な個別対応を進めています。	A	学校教育課
	・多文化共生プラザで相談に応じており、学校教育課等とも連携し対応します。		人権共生課 （多文化共生プラザ）
79	○「ヤングにほんご教室」の活用 ・子ども日本語教育センターを中心に連携を進めています。	B	学校教育課
	・ヤングにほんご教室で、中高生の勉強や宿題のサポートを行っています。また、オンライン配信も開始しました。（生涯学習課・中央公民館） ・今後は若者への就労支援を含めたサポートを計画しています。（生涯学習課・中央公民館）		生涯学習課・中央公民館 （地区公民館）
80	○日本語教室での子どもの受入れ ・ヤングにほんご教室で、中高生の勉強や宿題のサポートを行っています。（生涯学習課・中央公民館） ・今後は若者への就労支援を含めたサポートを計画しています。（生涯学習課・中央公民館）	B	生涯学習課・中央公民館 （地区公民館）

81	○子どもを取り巻く状況、ニーズを把握しながらの教室運営 ・今後、子どもを対象とした学習支援と居場所づくりを行う教室と、高校生を対象にキャリア支援を行う教室を計画しています。(生涯学習課・中央公民館)	B	生涯学習課・中央公民館 (地区公民館)
82	○未就学児の現状把握 ・公立私立保育園・幼稚園・認定こども園での「入学予定児童に係る外国籍児童の実態調査」を実施し、子どもや保護者の実態を把握し、小学校へ情報提供を行いました。幼保から小学校への接続を円滑に進めるため、今後も継続して取り組みます。	A	保育課
83	○未就学児への指導実施 ・コロナ禍により今年度は未実施でした。	Z	学校教育課

施策の方向性 3-2
子育て環境の充実

具体的施策3-2-1 子育て関連情報の多言語発信

No.	取組状況 (R4年3月末見込み) ・今後の取組方針	達成状況	担当課
84	○「子育てガイドブック」の多言語化 ・令和3年度に発刊した子育てガイドブックにおいて、外国人向けの多言語対応ページを新たに作成し、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、タイ語に対応しています。	A	こども育成課
85	○多言語による「つどいの広場事業」と「こどもプラザ事業」の周知 ・英語、中国語、ポルトガル語、タイ語、タガログ語の利用案内を作成しています。掲載内容について見直しを行い、更新していきます。	B	こども育成課
86	★入園時、在園中のやさしい日本語活用・多言語化対応による保護者支援 ・写真等を使用した案内作成や、保護者のニーズに合わせ、必要に応じて通知文等の翻訳、通訳を依頼し、保護者への支援を行いました。今後も継続して保護者への支援に取り組みます。	A	保育課

具体的施策3-2-2 関係機関との連携

No.	取組状況 (R4年3月末見込み) ・今後の取組方針	達成状況	担当課
87	○相談事業における家庭児童相談員との連携 ・子どもに関する相談など、内容に応じ、家庭児童相談員と連携し対応しています。	A	人権共生課 (多文化共生プラザ)
88	○保育士や民生委員・児童委員との連携 ・保育園からの依頼により、通訳者の派遣を行っています。 ・今後も、園長研究会や民生委員・児童委員全体研修会を通して、多文化共生プラザ機能の周知を図ります。	A	人権共生課 (多文化共生プラザ)
89	○健診における保健師との連携 ・保健センターからの依頼により、乳幼児健診へ通訳者を派遣しています。 ・R3年度実績：5件(2月15日現在)	A	人権共生課
90	○こどもプラザでの情報提供 ・多文化共生プラザや病後児保育などの情報を多言語で提供しています。	A	人権共生課 (多文化共生プラザ)
91	○交流の場となる「多文化共生サロン」の実現 ・親子向けのプラザイベント等を通じ、日本人保護者と外国人保護者の交流の機会をつくれます。	C	人権共生課

具体的施策3-2-3 保健センター等における支援

No.	取組状況 (R4年3月末見込み) ・今後の取組方針	達成状況	担当課
92	○育児相談・指導の実施 ・保健センターでの育児相談を、予約制で行っています。 ・電話やオンラインでの相談も行っています。	A	健康づくり課
93	○こどもプラザや保健センター等を利用することができない保護者(親子)への個別支援 ・地区担当保健師による家庭訪問を行い、一人ひとりに寄り添った支援をしています。	A	健康づくり課
94	○母子手帳を多言語で配布 ・必要な方へ、希望の言語仕様の母子手帳を渡しています。 (英語、韓国語、中国語、タイ語、タガログ語、ポルトガル語、インドネシア語、スペイン語、ベトナム語)	A	健康づくり課

95	<p>○予防接種予診票を多言語で作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松本市独自の予診票のうち8割を英語、中国語、タガログ語、韓国語、ポルトガル語、タイ語で作成し、対象者に配布しています。 ・その他のこどもの定期予防接種の予診票、言語については、16か国語に翻訳された全国共通様式の予診票を配布しています。 ・高齢者の予防接種、こどもの任意予防接種の予診票には翻訳されたものがないため、今後の課題です。 	B	健康づくり課
96	<p>○予防接種通知文の中に多言語の予診票があることを記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの定期予防接種通知文には全て記載しています。 ・高齢者の予防接種、こどもの任意予防接種の予診票には翻訳されたものがないため、今後の課題です。 	B	健康づくり課
97	<p>○乳幼児健診のおたずね票を多言語で作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通知文に英語で記載しています。 ・必要な方へ、希望の言語仕様のおたずね票を渡しています。 (英語、中国語、韓国語、タイ語、タガログ語、ポルトガル語) 	A	健康づくり課

基本目標4 暮らし
 多様な人々と共生する安心・安全で支え合いの心がつながるまち
 施策の方向性4-1
 災害対応力の向上

達成状況 A:達成
 B:おおむね達成
 C:改善が必要
 Z:その他

具体的施策4-1-1 ICT活用による情報発信体制の充実			
No.	取組状況（R4年3月末見込み）・今後の取組方針	達成状況	担当課
98	○SNS等を用いての「やさしい日本語」と多言語による防災に関する情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・SNS等を用いた災害情報の発信について、やさしい日本語で発信することを努めています。 ・引き続き、やさしい日本語での発信に努めます。 	A	危機管理課
	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページでやさしい日本語で防災情報の提供をしています。 ・大雨などの災害が予測される際には、Facebookでやさしい日本語の防災情報を提供しています。 		人権共生課 (多文化共生プラザ)
99	○松本安心ネットやLアラート等を活用した、やさしい日本語による災害情報発信についての研究 <ul style="list-style-type: none"> ・各情報伝達手段の特長に応じた表現・伝達方法を踏まえ、やさしい日本語による災害情報発信について研究しています。 	A	危機管理課
100	○キーパーソン・ネットワークを活用したキーパーソンから外国人住民への情報拡散 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年8月の大雨時には、キーパーソンLINEで避難情報をやさしい日本語で提供し、情報拡散を図りました。 	B	人権共生課
具体的施策4-1-2 防災意識の向上			
No.	取組状況（R4年3月末見込み）・今後の取組方針	達成状況	担当課
101	○転入時に「防災ハンドブック」を配布 <ul style="list-style-type: none"> ・市民課窓口にて、外国人転入者に多言語生活ガイドブックの二次元コード一覧表を配布しています。 	A	人権共生課
102	○「防災ハンドブック」の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生プラザ、各地区地域づくりセンター、各保健センターに二次元コード一覧を設置しており、市内大学にも設置を依頼しています。 	A	人権共生課
103	○居住地区の防災訓練・避難所設営訓練への参加（避難所の確認、役割の確認） <ul style="list-style-type: none"> ・R2年度、全指定避難所（156カ所）に「災害時多言語表示シート」を配備しました。 ・キーパーソンを通じ、防災情報の発信を行いました。 	B	人権共生課
	<ul style="list-style-type: none"> ・町会や地区単位で、防災訓練、避難所設営訓練は実施されています。 ・引き続き、人権共生課と連携し、防災訓練等への参加を促します。 		危機管理課
	<ul style="list-style-type: none"> ・要援護者優先避難所となる大手公民館で多言語による表示を準備（中央） ・地区内8カ所の避難所において運営委員会を開催、避難所開設に係るシュミレーション等を実施（梓川） ・地区内1町会で、他の町会のモデルとなる防災訓練を実施（梓川） 		地域づくりセンター
104	○外国人住民・キーパーソン・地区住民合同の災害時対応講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・今後、関係課と連携し、キーパーソン研修会等で防災情報を提供します。 	B	人権共生課
	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な団体に対し、防災に関する出前講座を実施しています。 ・引き続き、人権共生課と連携し、災害時対応講座を実施します。 		危機管理課
	<ul style="list-style-type: none"> ・キーパーソン等と連携した講座の実施を検討します。 		地域づくりセンター
105	○災害時要援護者支援プランの推進（避難行動要支援者名簿の周知啓発） <ul style="list-style-type: none"> ・多言語（英語、中国語、ポルトガル語、タイ語、やさしい日本語）による制度周知のチラシを作成しました。 ・避難行動要支援者名簿を作成し、地域における避難支援体制づくりに取り組みました。 	A	福祉政策課
具体的施策4-1-3 災害多言語支援センター体制の充実			
No.	取組状況（R4年3月末見込み）・今後の取組方針	達成状況	担当課
106	○多言語支援センターの組織編制・業務内容・他団体との連携についての確認 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため、規模を縮小し、人権共生課職員内での防災訓練を実施しました。 ・訓練を通じ、業務内容、他団体との連携・役割分担について確認しました。 	B	人権共生課

107	○多言語支援センターの設置・運営訓練の実施 ・コロナ禍のため、規模を縮小し、人権共生課職員内での防災訓練を実施しました。	B	人権共生課
108	○防災訓練及び災害時多言語支援センター運営訓練での多言語化訓練 ・R2年度、全指定避難所（156カ所）に「災害時多言語表示シート」を配備しました。 ・今後も市総合防災訓練の際に「災害時多言語表示シート」を活用します。	B	人権共生課

施策の方向性4-2
働きやすい環境づくり

具体的施策4-2-1 サポート情報の多言語発信

No.	取組状況（R4年3月末見込み）・今後の取組方針	達成状況	担当課
109	○小さな子供がいる家庭やひとり親家庭でも、安心して仕事ができるサポート体制の構築 ・「松本市子育てガイドブック」の外国人向けページにおいて保育園、休日保育や児童センター等の案内を掲載。QRコードをスマートフォンで読み取ることで多言語翻訳（5か国語）して閲覧可能。	B	こども育成課
110	○既存機能の周知のため、相談機関をリスト化し多言語による情報発信 ・現在、相談機関リストを多言語化しています。完成後に窓口等に掲載します。また、今後定期的に内容を見直し、情報発信に努めます。	B	労政課
111	○問題発生以前に、情報収集ができるよう、ハローワーク窓口などで相談機関をリスト化したチラシを配布 ・現在、相談機関リストを多言語化しています。完成後に窓口等に掲載します。また、今後定期的に内容を見直し、情報発信に努めます。	B	労政課

具体的施策4-2-2 定住・就労支援

No.	取組状況（R4年3月末見込み）・今後の取組方針	達成状況	担当課
112	★スムーズな住宅確保に繋がる支援 ・国が作成する「外国人のための賃貸住宅入居の手引」などを多文化共生プラザに配架し、相談者に情報提供しています。 ・雇い止め、生活困窮など、住宅確保に関する相談には、関係課やNPO法人とも連携し対応しています。	A	人権共生課 (多文化共生プラザ)
113	★定住希望者が安心して暮らし続けるための就労支援 ・ハローワークと連携し、外国人労働者の雇用及び就労支援について、情報提供を行っています。 ・厚生労働省及び長野県と連携し、外国人の就労定着支援研修や外国人材受入企業のサポートについて情報を提供しています。 ・労働に関する相談、心の健康相談窓口を開設し、相談及び助言を行っています。 ・相談の内容に応じ、ハローワークや外国人就労・定着支援研修への繋ぎを行っています。	A	労政課 人権共生課 (多文化共生プラザ)
114	○外国人就労・定着支援研修等による日本語習得 ・外国人就労・定着支援研修実施団体と連携を図っており、当該研修のチラシを設置するなど、周知協力しています。	A	人権共生課
115	○多言語対応のない相談機関と既存の多言語機関（ハローワーク松本・多文化共生プラザ等）との連携 ・相談機関で多言語対応が必要な場合は、多文化共生プラザ等と連携して対応します。	B	労政課
116	○就労支援を実践している企業の紹介 ・昨年度は「労政まつもと」に実践企業の紹介記事を掲載しましたが、今年度は実施することができませんでした。現在は、次年度の掲載に向けて企業を選定し、取材を計画しています。	Z	労政課
117	○起業支援に関する情報収集・発信 ・国籍問わず起業に関する情報発信やサポートを商工会議所と連携して行っています。（令和3年度外国籍創業者支援実績3件）	A	商工課

具体的施策4-2-3 異文化理解の促進			
No.	取組状況（R4年3月末見込み）・今後の取組方針	達成状況	担当課
118	○外国人労働者に対する理解を促進するため、外国人を雇用した良好事例などの発信 ・昨年度は「労政まつもと」に掲載しましたが、今年度は実施することができませんでした。現在は、次年度の掲載に向けて企業を選定し、取材を計画しています。	Z	労政課
119	○異文化理解の啓発や異文化間の摩擦を解決した具体的事例など、企業に役立つ情報の発信 ・昨年度は「労政まつもと」に掲載しましたが、今年度は実施することができませんでした。現在は、次年度の掲載に向けて企業を選定し、取材を計画しています。	Z	労政課

施策の方向性4-3
医療・健診を受けやすい環境づくり

具体的施策4-3-1 多言語表示・案内の促進			
No.	取組状況（R4年3月末見込み）・今後の取組方針	達成状況	担当課
120	○外国人住民が医療機関へ行きやすくするための多言語表示の作成、活用促進 ・関係団体や医療機関等と連携し、多言語表示の案内等の作成を検討します。 ・未実施（関係団体と協議しながら進めていきたい。）	C	福祉政策課
	・必要に応じ、外国人患者対応シートを活用し、外国人住民の対応を行っています。 ・院内表示については、新病院建設に向けた具体的な検討を行っています。		病院局 (病院総務課)
121	○多言語対応医療機関リストの作成 ・関係団体や医療機関等と連携し、多言語対応医療機関のリスト化に向けて検討を進めます。	C	福祉政策課
	・対応言語が掲載されている「ながの医療情報ネット」について、掲載情報の更新を速やかに実施します。		保健総務課
122	○医療機関への情報提供 ・国、県からの通知について、医療機関等へ情報提供を行います。	B	福祉政策課
	・国、県からの通知について、医療機関等へ情報提供を行います。		保健総務課
123	○多言語対応医療機関の表示（各医療機関や薬局に対応可能マーク等の提示） ・関係団体や医療機関等と連携し、多言語対応医療機関の表示案内の作成等の検討を進めます。	C	福祉政策課
	・「ながの医療情報ネット」に対応言語が掲載されていることから、医療機関等に対応言語を掲示する効果等について関係機関と研究を進めます。		保健総務課

具体的施策4-3-2 医療通訳体制の充実			
No.	取組状況（R4年3月末見込み）・今後の取組方針	達成状況	担当課
124	○既存の医療通訳システム、通訳者に対する研修・制度やICT技術などの情報収集 ・他自治体の医療通訳施策について、情報収集しています。	B	人権共生課
	・国、県からの研修会等の開催などについて、速やかに関係機関へ通知します。		福祉政策課
	・国、県からの研修会等の開催などについて情報収集を行い、速やかに関係機関へ通知します。		保健総務課
125	○県、近隣都市や医療機関との連携を呼びかけ、実現可能な通訳システムの研究、キーパーソン・ネットワーク活用の研究 ・他自治体の医療通訳施策について、情報収集しています。	C	人権共生課

具体的施策4-3-3 健診を受けやすい環境づくり			
No.	取組状況（R4年3月末見込み）・今後の取組方針	達成状況	担当課
126	○健康診断などの既存サービスの周知を多言語で情報発信（通知封筒多言語化、多言語サービスリスト化） ・検診通知用封筒の5か国語表示を行っています。	B	健康づくり課

127	○健康相談や健康診断で、通訳派遣等外国人住民が利用しやすい仕組みづくり ・健康相談や健康診断における通訳派遣を検討中	B	健康づくり課
	・保健センターからの依頼に応じ、乳幼児健診への通訳者派遣を実施しています。		人権共生課